

JIS A 5548 タイプI **F★★★★**

JAIA 4VOC基準適合

石材用接着剤 EPS-20ソフト

2液混合形

EPS-20ソフトは、石材(600角・厚さ20mm以下)を浮かし厚10mm以下の点付け接着施工に適したエポキシ樹脂系の接着剤です。2液を混合すると白くなる補色タイプですので、目地部からのはみ出しや汚れが目立ちません。



エポキシ樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量		包装形態	梱包単位
20kgセット	主 剤	10kg	缶 (ヘラ・混ぜ板付き)
	硬化剤	10kg	

用 途

適用箇所	屋内の壁面
適用下地	・モルタル ・コンクリート ・フレキシブル板 ・合板
適用仕上げ材	石材(600角、厚み20mm以下) セラミックタイル(陶磁器質タイル)

標準使用量

モルタル下地	1.6~2.5kg/m ²
	0.4~0.6m ² /kg
	8~12m ² /20kg

性 質

	主 剤 (A剤)	硬化剤 (B剤)
外 観	淡いピンク パテ状	淡いグリーン パテ状
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
混合比(重量比)	主剤(A剤)：硬化剤(B剤) = 1：1	
張付け可能時間	30分以内/23℃	
可 使 時 間	40分以内/23℃	

使用方法

【下地の確認】

- モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板など表面強度の高いボードを使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で平滑にします。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び仕上げ材のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

チェック：・若齢下地への施工は石材汚染が起りやすいので避けて下さい。
・塗装面・ガラス面・浴槽内・常時60℃以上になる所には使用できません。
・下地に浮き水がある場合は拭き取ります。

【接着剤の混ぜ合わせ】

- 1.接着剤の主剤(A剤)と硬化剤(B剤)を1：1(重量比)の割合になるように容器に取り出します。

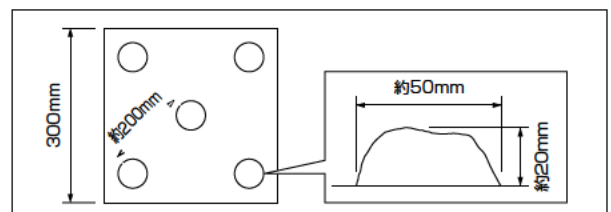
チェック：・接着剤を取り出す時は主剤(A剤)と硬化剤(B剤)では別々のヘラを使用して下さい。
・硬化剤(B剤)は空気中の水分の影響により皮張りを起こしますので、取り出し時以外は蓋をして下さい。

- 2.取り出した接着剤をよく混ぜ合わせます。

チェック：・一度に混ぜ合わせる量は、可使時間内に使い切れる量にして下さい。
・一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。
・接着剤を加熱したり溶剤などを加えないで下さい。
・主剤(A剤)と硬化剤(B剤)がよく混ぜ合わされていないと接着不良や石材汚染の原因となりますので注意して下さい。

【接着剤の塗布】

ヘラなどを使用して接着剤を石材の裏面へ直径50mm、高さ20mm程度のダンゴ状に、約200mm間隔で点付けします。(下図参照)



EPS-20ソフト

【仕上げ材の張り付け】

1. 接着剤塗布後、最下部の仕上げ材から目地の状態や不陸を調整しながら押し付けるように張り付けます。
2. 2段目からはスパーサーや仮固定金具を利用して目地調整をしながら張り付けます。

チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。
・張り付けは接着剤塗布後、張付け可能時間以内に終えて下さい。
・張付け可能時間は環境により異なります。

【養生】

施工完了後、接着剤が硬化するまで1日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め施工例】

1. 目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく又、接着剤が硬化している事を確認します。
2. 目地用ゴムゴテを用いて、目地に既調合目地材が完全に充てんされるように塗り込みます。

チェック：伸縮目地部や設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

3. 仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。
4. 目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。

【端部の処理】

伸縮目地部や設備機器との取り合い部には、シーリング材を設けます。

チェック：シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

取り扱い上の注意事項

EPS-20ソフトを使用する前に下記の項目を守って下さい。

- 塗装面・ガラス面・浴槽内・常時60℃以上となる場所には使用できません。
- 接着用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。
(混合物は容器にもどさないで下さい)
- 接着用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)

- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 接着剤は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。
- 開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。
- EPS-20ソフトをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意

主剤 (A剤)



可燃性あり 有害性あり 皮膚刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

硬化剤 (B剤)



可燃性あり 有害性あり 皮膚刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされませうお薦めします。

株式会社 タイルメント 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区信勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900							
東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090	技術開発センター FAX: 0584-89-8111	
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621				